

北海道の印刷

6

第817号

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

2024年6月10日発行

北海道の難読地名

馬主来

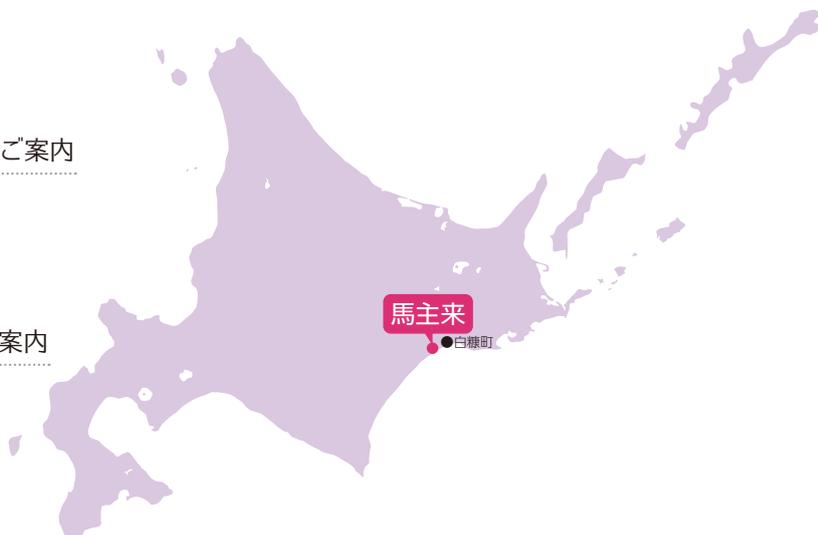
難読レベル

★★★★☆

馬主来沼と湿原（白糠郡白糠町）

CONTENTS

- 3~5 令和6年度通常総会開催される
- 5 令和6年度上期北海道地区印刷協議会開催のご案内
- 6 新役員のご紹介
- 7~9 令和6年度事業計画が決定される
- 9 業界のうごき
- 10 専門家派遣による経営改善集中支援事業のご案内



北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル
TEL.011-595-8071 / FAX.011-595-8072

[Website] <https://www.print.or.jp> [E-mail] info@print.or.jp



P-00023

この印刷物は、CSRに取り組み印刷会社が製作した印刷物です。

令和6年度事業計画・収支予算を決定

令和6年度通常総会

令和6年度通常総会が、5月17日午後3時から札幌市中央区の札幌パークホテルで全道から組合員81人（代理出席を含む）が出席して開催され、令和5年度事業報告、同収支決算を承認し、令和6年度事業計画・同収支予算などを決定し、任期満了による役員の変更が行われ理事15人と監事2人を選任した。



岸 昌洋氏

最初に、岸理事長が、組合員、来賓に参加のお礼を述べたあと、「今期は改選期ということになっている。これから慎重な審議をお願いしたいと思う。日頃、皆さんに大変協力いただいている組合の活動がどういう状況でどういう数字で変遷していったかを審議いただく場となっているので、本日はどうぞよろしく願います」とあいさつを述べた。

次に、来賓4人の紹介が行われた後、来賓を代表して2人からあいさつが述べられた。



酒井哲也氏

酒井哲也経済産業省北海道経済産業局地域経済部次長は、「北海道印刷工業組合ならびに会員企業の皆さんには、道内印刷業の振興・発展を通して、私たちの生活をより豊かなものにし、同時に地域のあらゆる産業活動を支えて来られたことに深く敬意を表する。現在、国家間の対立をはじめとする地政学リスクの高まりや地球規模の気候変動問題、デジタル技術の急速な進展など、私たちを取り巻く社会・経済環境はさまざまな変化に直面している。こうしたなか北海道も今まさに変革と進化に向けた転換点を迎えたといっても良いかと思う。次世代半導体拠点の立地や大型データセンターの進出といった動きをはじめ一次産業や宇宙関連分野における新しいイノベーションも起こっている。産学官一体となって北海道からスタートアップ企業をどんどん育てていこうという取り組みも始まっている。印刷業界は、ペーパーレス化やデジタル化などを背景として情報メディアの多様化が進んでいるほか、コロナ禍によって需要の構造が大きく変化をしたなどへの対応が必要と聞いている。一方で、現在のような変化の激しい時代、情報洪水の時代と言われるなかであるからこそ、これまで文化・情報コミュニケーションの担い手として活躍して来られた印刷業界の皆さんの役割は引き続き大きいものと思っている。是非、今後も長年培われた技術・ノウハウ・ネットワークを活かされ、私たちの社会・経済にさまざまな価値を提供していただくことを



期待する。北海道経済産業局としても地域の経済を担われている中小企業の皆さんが、厳しい状況のなかでも収益を維持・確保・拡大して、必要な人材の確保、賃上げ等の取り組みを進めることができるようデジタル化をはじめとする生産性向上の取り組みをサポートするほか、適切な価格転嫁を行いやすい環境づくりを進めていく。皆さんには当局の支援施策を活用いただくことで経営課題の解決、新たなビジネス展開等につなげていただけると大変幸いである」と述べた。



石川孝範氏

石川孝範北海道経済部産業振興局産業振興課長は、「本道経済の動向について経産局の酒井次長からも話があったが、グリーントランスフォーメーション、デジタルトランスフォーメーションなど社会情勢の変革が加速している。昨年2月にはラピダス社が千歳に次世代半導体の製造拠点を作るということで今、鋭意工場建設を行っている。11月にはソフトバンクが苫小牧に日本最大級のデータセンターを立地するという大きな動きが出ている。一昨日、日刊工業新聞に千歳市にフルヤ金属が半導体関連の温度センサーを作る製造工場を約37億円投資して建設するという報道も出ている。今後さらにデジタル関連産業の集積が加速していくのではないかと考えている。このように社会・経済情勢が大きく変化しているなか、今まさにその過渡期にあると思っている。印

刷産業においても印刷需要の多様化・デジタル技術の進展といった市場環境が大きく変化していると思うが、これからはデータセンターや半導体に関連して、生成AI・ビッグデータの活用、印刷技術と半導体技術の融合など、新たな需要に対応できる事業経営、業界づくりが求められている。道庁としても印刷産業をはじめとする製造業の振興は一層重要性が増していると考えている。国内外からの企業誘致による産業の活性化、地場の企業の競争力の強化によって地域産業の発展を目指して行き、これまでも道内製造業の技術力向上・販路拡大・製品開発・人材確保などにも取り組んできているが、北海道印刷工業組合においても、こうした社会情勢の変化を捉えて、経営者研修会などを開催して、経営の改善、人材育成など労働環境整備に向けた取り組みを積極的に行われていると聞いている。役員・組合員の皆さんの尽力に改めて心から敬意を表する」と述べた。

次に、定数報告が行われ、議長に植平有治氏（植平印刷株式会社代表取締役・旭川支部）を議長に選出し、議長から議事録署名人に伊藤正人氏（株式会社北海民友新聞社・オホーツク支部）と西山真氏（大輝印刷株式会社・札幌支部）の2名を指名し、議事に入った。

第1号議案令和5年度事業報告について、第2号議案令和5年度決算（案）について、監査報告が一括上程され、議案説明のあと、細木俊明監事から会計処理・内容は適切である旨の監査報告が行われ、審議の結果いずれも原案どおり承認された。

令和5年度決算額は、収入総額が25,259,762円となり、当期純利益金額2,030,373円を計上し、令和5年度末（令和6年3月31日）の正味財産は、20,004,596円となった。剰余金処分案として、当期純利益金2,030,373円のうち特別積立金210,000円を処分額として、前期繰越剰余金12,112,223円と合わせ、13,932,596円を次期繰越剰余金とすることとした。



植平有治議長



また、本部・支部合算の貸借対照表・損益計算書についても承認された。

第3号議案令和6年度事業計画（案）について、第4号議案令和6年度収支予算（案）について、第5号議案令和6年度組合員の賦課員額及び徴収方法の決定（案）について、第6号議案常勤役員の報酬（案）について一括上程され、審議の結果、いずれも原案どおり決定された。

令和6年度事業計画は、組織の拡大、広報活動の強化、未来を創る業界運動の展開、「印刷の月」行事の取り組み、共済事業への加入促進、福利厚生事業の実施、組織・財政状況の検討を柱とした各種事業を、組合員企業の繁栄と発展のため積極的かつ強力で推進し、印刷産業がDXで世の中をより便利にするため、地域に根差し人々の暮らしを彩り、幸せを創る印刷産業に発展するため積極的に推進していくこととした。

令和6年度収支予算は、19,500,000円を計上した。

令和6年度組合員の賦課金額及び徴収方法は、売上自主申告の20ランク制として、当月分賦課金を当月末までに所属支部の指定口座に払い込むこととした。

常勤役員の報酬は、原案どおり決定した。

第7号議案令和6年度借入金の最高限度額（案）については、運転資金として500万円と決定した。

第8号議案委員会規約の一部改正（案）については、全印工連の運営組織が今年度から一部変更され委員会の所管事業・名称が変わることから、北印工組の委員会もこれに呼応するため、組織共済委員会を組織活性化委員会、環境労務委員会をサステナビリティ・CSR委員会に改称するため委員会規約を一部変更することが決定された。

第9号議案任期満了による役員の改選については、選考委員による指名推選により役員の選挙が行われ、理事15人と監事2人が選出された。（役員の氏名は6頁に掲載）

次に報告事項に移り、令和5年度脱退組合員（2社）、令和6年度期首加入組合員（2社）について報告が行われた。

総会を休会し、新理事・監事による理事長選出の理事会が開催され、理事長に岸昌洋氏（株式会社正文舎代表取締役・札幌支部）を再選し、総会で発表された。

岸理事長から「再任ということで私が理事長になった。このように再任されていくとマンネリ化、形骸化して最初の勢いがだんだんなくなってくるが、3年という長い年月コロナで止むを得ずいろいろなことが停滞してしまった。もう一度、初心に戻って組合員1社1社にお役立ちができるいろいろな施策を各副理事長・委員長、役員総出で考えて、皆さんにお届けしたい。また1期2年引き続きどうぞよろしくお願いしたい」と、再任にあたってのあいさつが述べられた。



感謝状を受ける山田 遵 氏

以上で、総会の議事をすべて終了し、植平議長が降壇した。

この後、本総会をもって理事を退任した山田遵氏（株式会社山紀・旭川支部）に岸理事長から感謝状が贈られ、令和6年度通常総会を終了した。

令和6年度上期北海道地区印刷協議会のご案内

北海道印刷工業組合は、令和6年度上期北海道地区印刷協議会を6月14日午後2時から、札幌市中央区の札幌パークホテルで開催する。

記

1. 日時／令和6年6月14日(金) 14:00～18:40
2. 会場／札幌パークホテル（札幌市中央区南10条西3丁目 TEL.011-511-3131）
3. スケジュール
 - 14:00～15:00 全体会議
 - ①理事長あいさつ
北海道印刷工業組合理事長 岸 昌洋
 - ②全印工連あいさつ
全日本印刷工業組合連合会副会長 橋本唱一 氏
 - ③全印工連事業概況説明
全日本印刷工業組合連合会専務理事 高橋秀明 氏
 - ④全印工連令和6年度事業計画について
全日本印刷工業組合連合会副会長 橋本唱一 氏
 - 15:10～16:10 分科会（委員会）
 - ①組織活性化委員会
 - ②経営革新マーケティング委員会
 - ③教育研修委員会
 - ④サステナビリティ・CSR委員会
 - ⑤青年部委員会
 - 16:15～17:00 総括会議
 - ①分科会（委員会）協議内容発表
 - ②理事長総括
 - ③全印工連感想所見
 - 17:10～18:40 情報交流会（懇親会）
4. 情報交流会（懇親会）

新役員決まる

理事長に岸 昌洋氏を再選

北海道印刷工業組合は、5月17日、令和6年度通常総会を開催し、任期満了による役員の変更を行い、新しく理事15人と監事2人を選任した。

これを受けて、令和6年度第3回理事会を開催し、理事長に岸 昌洋氏（株式会社正文舎・札幌）、副理事長に大和繁樹氏（株式会社ヒロミ産業・札幌）、植平有治氏（植平印刷株式会社・旭川）、岡部信吾氏（北陽ビジネスフォーム株式会社・札幌）、専務理事に伊藤克義氏（専従）を再選した。

さらに、顧問5人を選任した。



岸 昌洋
理事長



大和繁樹
副理事長



植平有治
副理事長



岡部信吾
副理事長



伊藤克義
専務理事



齊藤満生
教育研修委員長



下國延彦
青年部委員長

■ 役員

理事長・札幌支部長	岸 昌 洋 (株)正文舎・札幌)
副理事長・経営革新マーケティング委員長	大 和 繁 樹 (株)ヒロミ産業・札幌)
副理事長・組織活性化委員長・旭川支部長	植 平 有 治 (植平印刷株)・旭川)
副理事長・サステナビリティ・CSR委員長	岡 部 信 吾 (北陽ビジネスフォーム株)・札幌)
専務理事	伊 藤 克 義 (専 従)
理 事・教育研修委員長	齊 藤 満 生 (株)東和プリント・札幌)
理 事・青年部委員長	下 國 延 彦 (株)シモクニ・札幌)
理 事・産業戦略デザイン室担当	矢 吹 英 俊 (株)ホクラミ・札幌)
理 事・小樽支部長	米 澤 正 喜 (米沢印刷紙業株)・小樽)
理 事・オホーツ支部長	伊 藤 正 人 (株)北海民友新聞社・オホーツク)
理 事・十勝支部長	角 高 紀 (とがち印刷組合・十勝)
理 事・苫小牧支部長	山 田 新 一 (北光印刷株)・苫小牧)
理 事・南空知支部長	藤 井 智 樹 (藤井印刷株)・南空知)
理 事	田 村 総 司 郎 (株)総北海・旭川)
理 事	前 田 憲 之 (株)パスカル・プリンティング・札幌)
監 事	細 木 俊 明 (株)プリコム旭川・旭川)
監 事	加 藤 憲 一 (有)加藤印刷・札幌)

■ 顧問

顧 問	板 倉 清 (株)アイテックサプライ・札幌)
顧 問	岡 部 康 彦 (北陽ビジネスフォーム株)・札幌)
顧 問	木野口 功 (株)アイワード・札幌)
顧 問	高 木 哲 朗 (稚内印刷株)・本部直轄)
顧 問	松 井 丈 (株)北研社・オホーツク)

北海道印刷工業組合 「令和6年度事業計画」が決定

北海道印刷工業組合令和6年度事業計画が、5月17日開催の令和6年度通常総会において決定された。

I. 基本方針

昨年度から続く国際社会情勢による世界的な食糧・エネルギー不足の常態化に加え急激な円安に伴う物価上昇により、印刷産業にとっても資材・エネルギー・物流価格等の値上がりが続ぎ、経営は極めて厳しい状況にあります。

これらの上昇分ならびに労務費の上積み分を製品価格に転嫁し、適正取引化を進めることが急務であり、業界挙げての運動を本年も続けて参ります。

北海道印刷工業組合は、これまで培ってきました事業の成果と実績を踏まえ、本年度も「組織の拡大」、「広報活動の強化」、「未来を創る業界運動の展開」、「“印刷の月”行事の取り組み」、「共済事業への加入促進」、「福利厚生事業の実施」、「組織・財政状況の検討」の7本を柱とし、印刷産業がDXで世の中をより便利にし、地域に根差し人々の暮らしを彩り、幸せを創る産業として存続しつづけ、組合員企業の繁栄と永続のため、各種事業を工夫を凝らし積極的かつ強力に推進・展開して参ります。

主な活動内容は次のとおりです。

組織の拡大では、組合組織の根幹となる組合員の加入増強を組合員各位の協力を得て推進して参ります。

併せて、関連業者等との連携をより濃密にするため賛助会員の加入促進に努めて参ります。

広報活動の強化では、「北海道の印刷」ならびに「メールマガジン」を定期発行し、組合の活動状況や行政のうごき、全国的な業界動向、技術情報などを提供して参ります。

未来を創る業界運動の展開では、経営改善運動の推進、全印工連DX事業の啓発・推進、取引慣行改善運動の推進、人材育成研修会の開催、労働環境整備の啓発、環境保全適応の啓発、幸せな働き方改革の推進、メディア・ユニバーサルデザインの普及・啓発等に取り組んで参ります。

経営者研修会は、経営基盤の安定と確立、さらなる発展を図るために時宜を得たテーマで開催します。

人材育成研修では、オフセット印刷およびDTP技能検定の受検啓発、印力eラーニングの受講啓発等に努めるとともに、新たに道内先進印刷工場見学会を開催して参ります。

経営改善、取引慣行改善、人材育成、小規模経営対策、労働環境整備、環境保全適応、幸せな働き方改革、対外アピール、バリアフリーへの対応など各種事業ならびに障がい者雇用の啓発を積極的に推進し、組合

の事業の活性化ならびに社会への貢献に努めて参ります。

共済事業への加入促進では、全印工連の福利厚生充実のための共済と北印工組独自の企業の経費削減の一助に資するための団体扱自動車保険・火災保険・給油事業の加入促進を積極的に推進するとともに新電力およびビジネス総合保険紹介事業の推進に取り組んで参ります。

「HOPE2024」は、出展者と来場者がコミュニケーションを図り、情報発信と学びの場としてより有意義に活用できるように努めて参りますので、多くの方々の来場を期待しています。

組合員のための福利厚生事業を継続実施して参ります。

組織・財政状況の検討では、早期に健全な財政状況を確立するため各種の検討を行い、対策を模索して参ります。

本年度も組合員の連携を一層深め、印刷産業人として業界秩序を守り、高度情報化産業の一翼を担う自信と矜持をもって事業を推進して参りますので、是非、一人でも多くの組合員の皆さまに組合事業に積極的に参加いただき、情報を共有され、メリットを享受し、各社の持続的な発展・繁栄のための糧としていただきたいと存じます。

関係諸官公庁・各機関をはじめ、関連業界の皆さまのご理解とご支援をお願いし、組合活動の円滑な推進を図って参ります。

II. 実施事業

1. 組織の拡大

組合組織の根幹となる組合員の拡大運動を実施し組織率を高めるとともに、青年部の活動を活発にし、

組合活動の活性化に努める。

また、賛助会員の加入促進にも努める。

- (1) 組合への加入促進
- (2) 賛助会員の加入促進
- (3) 青年部活動の活性化

① 全青協北海道ブロック協議会・第30回北海道青年印刷人フォーラムの開催

② 全印工連全青協への議員派遣

- (4) 組合員名簿の発行
- (5) 組合員台帳調査の実施
- (6) 関連業界との連携強化

2. 広報活動の強化

広報紙を定期刊行し、組合の活動状況や行政の動き、全国的な業界動向、技術情報などを広報するとともにメールマガジンを発行し、情報化時代にふさわしい広報活動に努める。

- (1) 「北海道の印刷」の発行
- (2) メールマガジンの発行
- (3) ホームページの充実・活用
- (4) 「子どものまちミニさっぽろ2024」への出展

3. 未来を創る業界運動の展開

印刷需要の多様化、少ロット化、短納期化などの市場変化や経営管理のコンピュータ化、デジタル技術の進展等の環境変化に機敏に対応できる業界づくりを進めるため、経営改善、取引慣行の改善運動を進めるとともに、教育研修事業、労働環境の整備事業、環境

保全への対応、幸せな働き方改革の啓発、DX事業の啓発・推進、経営管理電子化への取り組みを軸とする小企業経営対策などを積極的に推進する。

(1)経営改善運動の推進

- ①経営者研修会の開催
- ②CSRの啓発
- ③日本印刷個人情報保護体制認定制度（JPPS）の啓発、中間講習会の開催
- ④全印工連特別ライセンスプログラムの啓発
- ⑤人材採用支援特別プラン「イーアイデム」の啓発
- ⑥事業承継支援センター利用促進の啓発

(2)全印工連DX事業の啓発・推進

- ①経営情報システム「BRAIN」・「SP MULTI」の普及・啓発
- ②DX-PLATの啓発

(3)取引慣行改善運動の推進

- ①官公庁取引の研究
- ②官公需における知的財産権の財産的価値配慮の促進
- ③諸資材取引の研究
- ④クラウドバックアップサービスの啓発
- ⑤ログ監視装置「マイウォッチャー」の啓発

(4)人材育成研修会の開催

- ①オフセット印刷技能検定の実施
- ②DTP技能検定の実施
- ③「印カレ」利用促進の啓発
- ④印カレeラーニング受講の啓発
- ⑤印刷営業講座受講の啓発
- ⑥道内先進印刷工場見学会の開催

(5)労働環境整備の啓発

(6)環境保全適応の啓発

- ①グリーンプリンティング工場認定の啓発
- ②環境経営印刷ネットワークの啓発
- ③環境推進工場登録の啓発

(7)幸せな働き方改革の啓発、推進

(8)メディア・ユニバーサルデザインの普及・啓発

- ①メディア・ユニバーサルデザインコンペの作品応募の啓発

4. 「印刷の月」行事の取り組み

印刷業界のイメージアップと社会貢献のため「印刷の月」行事を展開する。

(1)HOPE2024の開催

(2)各支部での取組の推進

5. 共済事業への加入促進

全印工連共済事業は、組合員の相互扶助の精神に基づいて組合員企業の福利厚生向上とともに各都道府県工組の財政に寄与することを目的に推進されており、周知を図り、加入促進を積極的に進めていく。併せてワンプライス中古車リース事業の周知を図る。

また、組合員企業の経費削減の一助として北印工組独自の共済である集団扱自動車保険事業、集団扱火災保険事業、集団扱給油事業の周知を図り加入促進を積極的に進めていくとともに、新電力およびビジネス総合保険紹介事業を推進していく。

さらに、新しい共済制度の研究、取り組みを進めていく。

(1)生命共済事業

(2)災害補償共済事業

(3)設備共済事業

(4)医療・がん・介護共済事業

(5)集団扱自動車保険事業

(6)集団扱火災保険事業

(7)集団扱給油事業

(8)ワンプライス中古車リース事業

(9)新電力紹介事業

(10)ビジネス総合保険紹介事業

(11)新共済制度の研究・取組

6.福利厚生事業の実施

(1)組合員の慶弔金等

7. 組織・財政状況の検討

組合組織の活性化、合理化と組合財政の早期の健全化に向けての各種の検討を行う。

業 界 の う ご き

▶株式会社東和プリント社長に齊藤満生氏

株式会社東和プリント（札幌市中央区北6条西14丁目1番地1 ユーアイN6ビル）は、このたび、齊藤達生社長が取締役会長に就任し、新しく代表取締役に齊藤満生氏が就任した。

専門家派遣による経営改善集中支援事業

道内中小企業・小規模事業者の皆さまへ

専門家を派遣します!

原油・原料価格高騰等の影響により厳しい経営環境にある道内中小企業・小規模事業者を対象に、各事業者の経営課題（経営改善、資金繰り、事業承継、販路開拓、生産性向上、衛生管理、新製品開発等）に応じて、専門家派遣等の指導・助言による経営支援を行います。



支援対象者

以下の一定期間の比較で、売上高または付加価値額(※)の減少が認められる道内中小企業・小規模事業者が対象となります。(創業時期に応じ、いずれかを参照ください)

2021年9月30日以前に創業の場合

比較条件 ①比較期間(減少した期間):2022年1月以降の連続する6か月のうち、任意の3か月
②基準期間(減少前の期間):2019年から2021年の間の①と同月

要件 上記①(比較期間)の合計売上高(または付加価値額)が、②(基準期間)と比較して、10%以上(付加価値額の場合は15%以上)減少していること

2021年10月～申込日の3か月前までに創業の場合

比較条件 ①比較期間(減少した期間):申込日の前月1か月
②基準期間(減少前の期間):創業日から申込日の前々月の間の1日平均額×比較期間の日数

要件 上記①(比較期間)の合計売上高(または付加価値額)が、②(基準期間)と比較して、10%以上(付加価値額の場合は15%以上)減少していること

(※)付加価値額:営業利益、人件費、減価償却費を足したもの

派遣内容

それぞれの課題に応じた専門家を派遣するほか、職員や経営改善コーディネーター等による支援・アドバイスをを行います。

派遣回数 1社あたり2回程度
(ただし、水産加工関連事業者は5回程度)

派遣専門家 中小企業診断士、公認会計士、税理士、
社会保険労務士、行政書士、ITコーディネータ、
技術士、衛生管理や品質管理の指導員等

申込方法

メール keieishien@hsc.or.jp
(北海道中小企業総合支援センター 経営支援部)
裏面の申込書に記入の上、PDFデータをメールにて送信ください。

Web <https://forms.gle/132Q53vBXKyJif7F6>
URLもしくは右のQRコードからお申込みください。

FAX 裏面の申込書をFAX(011-232-2011)にて
送信してください。



公益財団法人

<お問い合わせ先>

北海道中小企業総合支援センター

ホームページ <https://www.hsc.or.jp/>



札幌本部 〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目経済センタービル9階

TEL 011-232-2402

道南支部 〒040-0015 函館市梁川町5番10号 プライム函館EAST 8階

TEL 0138-86-6695

十勝支部 〒080-0013 帯広市西3条南9丁目23番地 帯広商工会議所内

TEL 0155-67-4515

釧根支部 〒085-0847 釧路市大町1丁目1番1号 釧路商工会議所内

TEL 0154-64-5563

道北支部 〒078-8801 旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号 旭川リサーチセンター内

TEL 0166-68-2750

日胆支部 〒050-0083 室蘭市東町4丁目28番1号 室蘭テクノセンター内

TEL 0143-47-6410

オホーツク支部 〒090-0023 北見市北3条東1丁目2番地 北見商工会議所内

TEL 0157-31-1123



HOPE 2024

HOKKAIDO PRINT EXPO

チャレンジ&チャンス ～『印刷“創注”+“造注”』～

テーマ

日時

令和6年

9/4水・5木

10:00～17:00 (5日は16:00終了)

会場

アクセスサッポロ

札幌市白石区流通センター4丁目3番55号

<https://www.axes.or.jp/>

CHALLENGE

展示会



セミナー

7セッション



CHANGE



主催：HOPE実行委員会

北海道印刷工業組合
北海道グラフィックコミュニケーションズ工業組合
北海道製本工業組合・北海道フォーム印刷工業会
北海道紙器段ボール箱工業組合

後援：経済産業省北海道経済産業局・北海道・札幌市
北海道中小企業団体中央会・札幌商工会議所
北海道中小企業家同友会
一般社団法人日本グラフィックサービス工業会

協賛：株式会社印刷出版研究所
ニュープリンティング株式会社

表紙の解説

馬主来（ばしくる）—白糠郡白糠町馬主来

由来は、アイヌ語のパシクル「カラス」の意。昔、アイヌが漁のため沖合に出て、霧が深くかかって方角を失った時、この沼の辺にカラスの啼く声がするのを幸いに、目当にし、ここへ上陸したことによる。

参考資料：北海道「アイヌ語地名リスト」

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/ass/new_timeilist.html

難読レベル

- ★☆☆☆☆…………… 道外の方でも読める
- ★★☆☆☆…………… 道民のほとんどが読める
- ★★★☆☆…………… 道民の半分くらいが読める
- ★★★★☆…………… 道民でもほとんど読めない
- ★★★★★…………… 地域住民以外は読めない

※難読レベルは北海道印刷工業組合独自の基準です。